

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ : 報告数は19件(前月比 0.3、前年同月比2.4)でした。1月の大流行の後、2月以降は急速に減少しています。7月は今年最も少ない件数でした。

## 小児科定点

## (全体傾向)

報告総数は3月以降横ばい状態で推移していましたが、5,445件(前月比1.22、前年同月比1.45)と増加しました。手足口病とヘルパンギーナの季節性流行による増加に伴う変動です。また、伝染性紅斑は4年ぶり、流行性耳下腺炎は3年ぶりの高い水準に達していることも要因となっています。感染性胃腸炎は減少していますが、例年に比べ未だ件数が多いようです。

## (疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告数は17件(前月比4.3、前年同月比2.1)でした。昨年10月にピークを迎え、1月から毎月漸減していましたが、7月は増加に転じました。ここ数年は8月から流行期に入っているため、今後の動向には注意が必要です。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は61件(前月比0.9、前年同月比0.8)でした。ほぼ横ばい状態の推移を示しており、1~2歳にピークを認めます。菊池地区からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は272件(前月比0.9、前年同月比0.7)でした。1月から例年を下回る状況が続く中、6月は増加に転じるも7月はやや減少しています。定点あたりの患者数では、菊池地区からの報告が目立ち、天草・有明・熊本・宇城地区からの報告も多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は1,608件(前月比0.9、前年同月比1.4)でした。5月以降は漸減していますが、例年よりも高いレベルを推移しています。山鹿・菊池・有明地区からの報告が多いようです。
5. 水痘 : 報告数は84件(前月比1.4、前年同月比0.3)でした。昨年10月に始まった水痘ワクチン公費接種の効果でしょうか、今年は例年に比べて低い件数で推移しています。7月は増加しましたが、絶対数は前年同月よりもぐっと少なくなっています。人吉・天草・水俣地区からの報告が多いようです。
6. 手足口病 : 報告数1,787件(前月比1.5、前年同月比3.1)でした。夏季のピークが見られなかった昨年とは対照的に、例年どおり6月以降の急峻な増加傾向が続いて、2年前の流行期と同等レベルに達しています。6ヶ月~3歳にピークを認めます。菊池・水俣・熊本地区からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は134件(前月比1.9、前年同月比67.0)でした。全国的に4年ぶりの流行が報告されており、本県でも過去2年間は毎月10件以下と低いレベルでしたが、4月から増加に転じ、6月からは毎月倍増して4年前の流行期レベルに達しています。人吉・菊池地区が多く、次いで宇城・八代地区と続きます。
8. 突発性発疹症 : 報告数は201件(前月比1.1、前年同月比0.8)でした。ほぼ例年並みの推移を示しています。
9. 百日咳 : 報告数は2件(前月比0.3、前年同月比0.4)でした。菊池地区と天草地区からの報告です。2件とも乳児例でした。

10. ヘルパンギーナ : 報告数は737件(前月比2.3、前年同月比1.0)でした。6月からの急峻な増加は続き、例年並みの推移を示しています。手足口病と同様、6ヶ月～3歳にピークを認めています。菊池・天草・宇城地区からの報告が多いようです。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数は174件(前月比1.5、前年同月比5.4)でした。今年は過去2年と比べて1月から毎月高いレベルで推移しており、6月からは急激な増加を認めます。特に人吉地区からの報告が続いています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数は189件(前月比2.2、前年同月比2.8)と5月から増加してきていましたが、7月に入り爆発的な発症になりました。乳幼児層、20～59歳、70歳以上の高齢者層にピークが見られますが、ほぼ全年齢層に発症していますので、更に感染が広まる恐れがあり注意が必要です。地区別では、熊本156件、菊池7件、有明26件の報告です。

## STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数52件(前月比0.9、前年比1.1)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性17件、女性35件で、女性に多く見られます。年齢は、男性は20～54歳に見られ、女性は15～49歳に見られますが、15～34歳に多く見られます。地域別では、熊本が30件、次いで御船7件、八代6件、菊池、有明各4件、宇城1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:  
報告数22件(前月比1.3、前年比1.5)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性8件、女性14件でした。年齢は、男性は30～70歳以上に見られ、女性は15～69歳と幅広く見られます。地域別は、熊本が11件、次いで八代7件、有明2件、菊池、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ : 報告数10件(前月比3.3、前年比2.5)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性6件、女性4件でした。年齢は、男性は15～70歳以上に見られ、女性は20～34歳に見られます。地域別は、熊本7件、次いで有明2件、宇城1件でした。
4. 淋菌感染症 : 報告数16件(前月比0.8、前年比0.7)で前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性11件、女性5件でした。年齢は、男性は15～59歳に見られ、女性は15～39歳に見られます。地域別は、熊本14件、次いで有明2件でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 20件(前月比1.3、前年比0.7)の報告がありました。地区別では熊本8件、山鹿1件、阿蘇1件、八代4件、水俣1件、人吉4件、有明1件でした。年齢別では0歳:2件、1～4歳:2件、5～9歳:2件、30～34歳:1件、35～39歳:1件、55～59歳:1件、70歳以上:11件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 : 7件(前月比2.3、前年比1.0)の報告がありました。地区別では、熊本:5件、有明:2件でした。年齢は、1～4歳:1件、5～9歳:3件、70歳以上:3件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 : 1件(前月比 1.0、前年比 ー)の報告がありました。阿蘇 1 件で、年齢は 70 歳以上:1 件でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 : 報告はありませんでした。(前月比 ー、前年比 ー)

2. 無菌性髄膜炎 : 10 件(先月比 2.5、前年比 1.3)の報告がありました。地区別では、熊本 8 件、人吉 1 件、天草 1 件でした。年齢は、1~4 歳:4 件、5~9 歳:3 件、10~14 歳:1 件、25~29 歳:1 件、30~34 歳:1 件でした。

3. マイコプラズマ肺炎: 22 件(前月比 2.2、前年比:11.0)の報告がありました。地区別では、熊本:19 件、菊池:1 件、水俣:1 件、有明:1 件でした。年齢は、1~4 歳:3 件、5~9 歳:15 件、10~14 歳:4 件でした。

4. 感染性胃腸炎(ロタウイルス) : 報告ありませんでした。(前月比: ー、前年比ー)

### 届け出対象感染症

1 類感染症 : 報告はありませんでした。

2 類感染症 : 結核 : 34 件

3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 : 6 件

4 類感染症 : レジオネラ症 : 3 件

つつが虫病 : 1 件

デング熱 : 1 件

日本紅斑熱 : 2 件

A 型肝炎 : 1 件

5 類感染症 : アメーバ赤痢 : 2 件

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 : 1 件

侵襲性肺炎球菌感染症 : 1 件

後天性免疫不全症候群 : 2 件

梅毒 : 2 件